

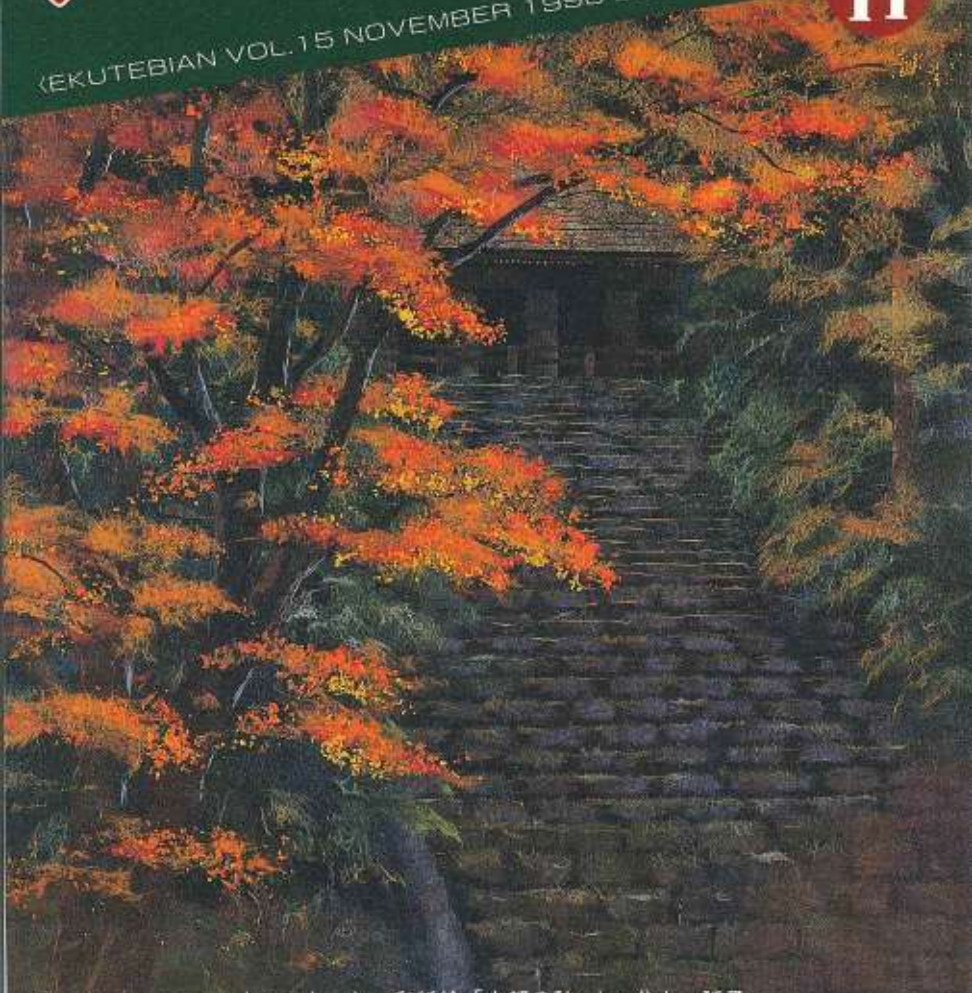
月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

えくてびあん

〈EKUTEBIAN VOL.15 NOVEMBER 1996 EKUTEBIAN〉

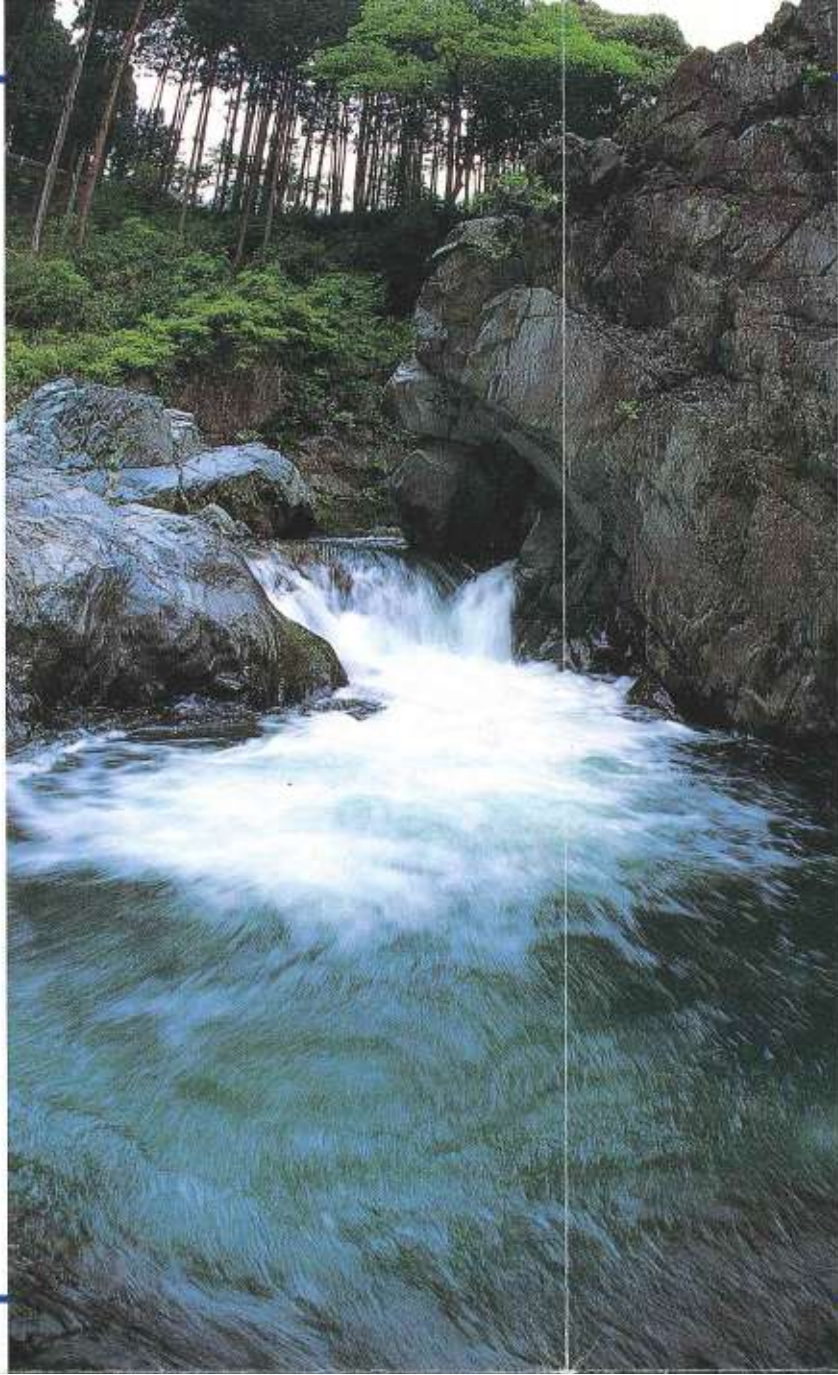
11



まい あーと ■和紙絵「古都の秋」by 井上 延子

檜原村・中山の滝

秋川が檜原村からあきるの市へと流れ込むあたりにこうこうと流れ落ちる中山の滝がある。落差こそ一メートルほどしかないが、秋川の豊富な水が幅六メートルの滝口から溢れ出る男性的で豪快な滝である。風土記には「鮎跳滝」として登場し、滝を遡る鮎やヤマメを捕っていたと記されている。山から木材を切出して川で運び出していたころは、この滝が秋川最大の難所であったという。



滝は檜原街道上からも見えるが道路沿いの碑(写真中)の裏側から滝まで下ることができる。滝から少し先に土産屋も。

アトランタ・パラリンピック水泳日本代表の面々。
 (写真下) 銅メダルの裏面には、点字がほどこされている。(写真右)



●えくてびあんレポート

第3回頒の会

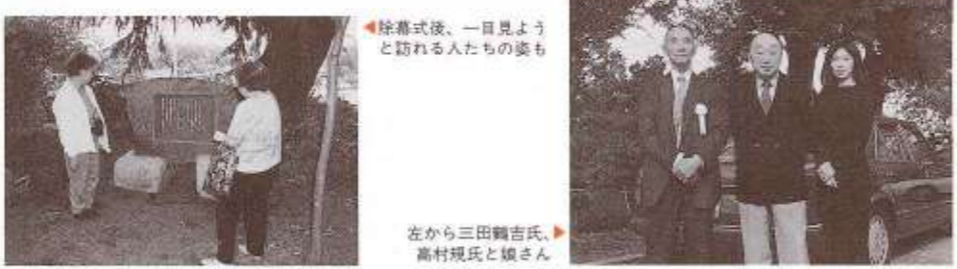
ブロンズ色の秋を祝う

今年の夏はオリンピックで話題騒然となったが、「もう一つのアトランタ」パラリンピックで青木彰信君（栄町）が世界の強豪を相手に水泳2種目で堂々の「銅」に輝いた。えくてびあんでは立川で、これぞという活躍をした人を囲んで、その努力と栄誉を讃え「頒の会」を催してきたが、3回目の今年も青木君の栄冠を讃えるパーティーとなった。集まった立川人の有志六十名からは、それぞれに健闘を讃え、「4年後のシドニーでは是非金を！」の励ましの声が聞かれ、秋の一夕をブロンズ色に染めあげた。



ずっしりとした感触の銅メダル。各テーブルでは、感慨深げに手に取る人たちの様子が見受けられた。お祝いの言葉に「ありがとうございました」と力強く応える青木君。於・リーセントパークホテル

立川商店 羽衣町2-30 ☎22-3565	三田花店 錦町2-5-23 ☎24-4187	東京靴流通センター 砂川町1-50-4 ☎37-3641
おそのい時計店 羽衣町2-32-2 ☎22-5211	セガミ薬局 錦町2-7-8 ☎25-9212	JAE経済センター 立川店 砂川町2-44-3 ☎36-1824
赤松タバコ店 羽衣町2-42 ☎24-7852	マルミヤスポーツ 錦町2-7-8 ☎22-2912	JAE東京みどり 立川店 砂川町2-44-3 ☎36-1821
中島豆腐店 羽衣町2-12-34 ☎22-5723	そば高尾亭 錦町5-5-31 ☎22-2710	ビジネスホテル クボタ 柴崎町2-12-23 ☎22-1122
和風レストラン 篇屋 羽衣町2-27-9 ☎26-3698	BSタイヤショップ 佐藤商会 幸町5-10-2 ☎37-0912	中華料理 みよし 柴崎町2-10 ☎25-3873
さくら 米町2-46-3 ☎36-8285	いなげや 立川幸店 幸町1-23-6 ☎37-1820	石原薬局 柴崎町2-10-3 ☎23-4067
永光薬局 米町2-58-7 ☎36-0206	ロッテリア 立川砂川9番店 幸町4-38 ☎37-4413	輪 輪 館 柴崎町2-12-17 ☎22-8100
メンズカット ヤザワ 米町2-59-8 ☎36-6716	洋菓子 マリアン 高松町2-10-22 ☎24-3912	南 関 田 酒 店 柴崎町2-2-17 ☎24-2960
うちのやブルマン 錦町1-18-17 ☎24-9280	横町屋菓子店 高松町2-11-23 ☎22-2609	寿 司 由 柴崎町2-2-8 ☎22-3733
美容室 アリス 錦町1-15-21 ☎25-1100	新藤青果店 高松町2-3-13 ☎22-6443	フティック リッチ 柴崎町2-3-10 ☎28-2054
coffee shop 遊香 錦町1-4-24 ☎27-3840	スーパー やなぎや 高松町2-5 ☎22-4322	キャノンショップ 柴崎町2-3-6 ☎28-1501
ステーキのブレ 錦町1-8-3 ☎27-1630	フレンド書房 高松町3-18-2 ☎27-1555	マイシティハウス 立川南口支店 柴崎町2-3-6 ☎26-0148
寿屋酒店 錦町2-1-13 ☎22-3625	山梨中央銀行 立川支店 高松町2-16-13 ☎26-1571	カフェレストラン ほまれ屋 柴崎町2-4-15 ☎26-2232
TAPAS 錦町2-2-29 ☎29-0733	CAFE RESTAURANT TIP-TOP 高松町3-27-27 ☎25-2030	ファッションハウス ほまれ屋 柴崎町2-4-15 ☎25-2788



平成3年に中村草田男句碑建立から立川市文化協会が中心となってはじめられた『詩歌のみち』。平成5年には若山喜志子、若山旅人、八木下禎治三人の碑が一度に建立。ひっそりとたたずみながら、文学碑は街に潤いを与えてくれている。去る10月7日、東京都農業試験場敷地内に高村光太郎の歌碑が建立された。立川がますます詩情あふれる街となっていく。

立川の友達から届いたのは、長さ二尺の白根を横へてぐつすりアトエに寝こんでいる。三多摩平野をたけめぐる風の申し子、冬の精鋭。僕を敷いた大胆不敵な意を見るときは、造形なんて影がうすいぞ。友がくれた一束の意に俺が感謝するのはその抽象無視だ。大正十四年 高村光太郎詩集より



根川から残堀川、多摩川へとつづく遊歩道、青木市長のアイデアに添って命名されたという『詩歌のみち』。昭和8年に普及したという詩歌のみちという中村草田男の句碑建立をはじめとして、その後、立川市社会福祉会館前詩歌のみち水源付近には、若山牧水の妻である喜志子の歌碑が、立川公園内には息子である若山旅人(富士見町在住)の歌碑が、市営球場前の根川緑道には八木下禎治の歌碑が建立されている。点在する立川ゆかりの歌碑は道ゆく人に詩情を与えている。

また一つ文学碑が 光太郎詩碑が “詩歌のみち”を彩る



五十嵐栄治氏の挨拶ではじめられた除幕式第一部の最後には、碑に刻まれている詩を立川市民俳句会の谷川水車氏が朗読。

えくてびあんの輪

ぼだい樹 柴崎町2-4-18 ☎28-0556	京 樽 立川南口店 柴崎町3-6-2 ☎21-4640	住友銀行 立川支店 錦町2-17-15 ☎22-8171
コマツホーム 柴崎町2-4-6 ☎25-5811	理 容 ふ な や ま 柴崎町3-6-23 ☎27-2780	喫茶 ア パ ン 錦町2-17-15 ☎27-4479
喫茶 キャリー 柴崎町2-4-7 ☎28-2630	多摩中央信用金庫 南口支店 柴崎町3-7-4 ☎28-2211	日の出屋 本店 錦町2-2-18 ☎22-3308
かみゆい処 わ 柴崎町2-4-8 ☎22-8202	オリオン書房 柴崎町3-6-27 ☎25-3111	多摩中央ミサワホーム 錦町2-8-29 ☎27-3388
芹沢ガラス店 柴崎町2-4-8 ☎22-3065	和光証券 立川支店 柴崎町3-8-2 ☎24-1321	富士銀行 立川支店 錦町2-4-6 ☎24-3121
小 室 園 柴崎町2-4-8 ☎22-2894	紀ノ国屋 立川店 若葉町1-13-2 ☎36-1604	あら井館 総本店 錦町2-5-12 ☎22-2957
ユウ都市企画 柴崎町2-3-13 ☎28-2556	ふとんの 青木寝商 若葉町1-8-1 ☎36-6833	二木のパン 錦町2-6 ☎22-2278
マエダ文具 柴崎町2-6-2 ☎25-6584	エッソ石油 けやき台ステーション 若葉町2-1 ☎35-3081	三上 堅 節 店 錦町2-8-30 ☎22-3259
手作りのお弁当 くりや 柴崎町2-9-3 ☎23-2590	いなげや 若葉町店 若葉町3-21-1 ☎37-4119	ホワイトハウス フロム中武 錦町2-11-2 ☎25-8558
立川高等技芸学院 柴崎町2-9-4 ☎22-3424	ルミネ立川店 1F受付 錦町2-1-1 ☎27-1411	ばさーじゅ フロム中武 錦町2-11-2 ☎22-1941
ブックスしんあい 柴崎町3-1-1 ☎27-6701	お菓子の家 エミリーフロゲ 錦町2-4-28 ☎27-4138	フロム中武 1F受付 錦町2-11-2 ☎24-7111
松山堂薬局 柴崎町3-13-25 ☎22-2550	アルピオン 錦町2-4-28 ☎25-3824	ケンタッキーフライドチキン 立川店 錦町2-12-16 ☎28-2636
こむろ酒店 柴崎町3-14-3 ☎22-2613	café パーゼル 錦町2-11 ☎23-3746	トボス 立川店 錦町2-18-18 ☎25-0331
ゴンファンク立川店 柴崎町3-4-2 ☎27-7413	パティスリー パーゼル 錦町2-11 ☎23-3746	パットパットゴルフ 錦町2-11-2 ☎25-2340
か つ 亀 柴崎町3-5-2 ☎25-7647	ロッテリア 立川ミネ店 錦町2-1-1 ☎24-7433	リーセントパークホテル 富士見町2-1-8 ☎26-3111

コーヒー豆を焙煎する

「珈琲職人」店主 小松 俊彦

一番いい所、と言う所でコーヒー豆は、なんとも言いえない良い香りが出て、今が一番おいしいよ。教えてくれます。一番良い所とするのは、コーヒーの香りとはかなり違う物で、焙煎している人間だけが分かる、最高の瞬間です。

私には目指している味があります。あるペテランの焙煎人の方に言われた事があります。焙煎する人間は、自分が本当に美味しい味を知らなければ、絶対に美味しい味は作れない。幸い私は、その方に会えたことと本当に美味しいコーヒーと出会った事がある。私がお話した超ベテランの焙煎人にお会いするまでは、焙煎は単なる技術だと思っていました。焙煎が上手く出来ればコーヒーは美味くなる、理想のコーヒーが完成すると思っていました。しかし、その方のお話をお聞きしているうちに分かった事があります。そのコーヒーを焙煎する人間の性格や人生観がコーヒーの味に出る。

そしてもう一つ私の将来、向かうべき方向を教えてくださいました。このコーヒーの味を出す焙煎出来るようになるには、私の人生観を勉強しないといけません。

今私は、焙煎とはどういうことかがやと分かってきた感じがします。自分が焙煎するコーヒーを美味しくするには、自分自身の人間性を磨いていくこと、と言う事です。

真如苑だより

街を歩くと、たわわに実った柿の実が夕焼け色に染まって、実りの季節の到来を告げているようです。11月、深秋にはっと一息、今年をふりかえってみてはいかがでしょうか。

真如苑では、今月も皆様のお越しをお待ちしております。

日時 11月19日(火)
2時~4時

■御本尊、真如宝物館をはじめとして映画など盛りだくさんの用意がしてございます。

■お申し込みは「えくてびあん・コンパニオン」(本誌を手渡してくれた人)へ。

発行 月刊「えくてびあん」第105号
平成八年十一月一日発行
発行所 えくてびあん編集部
東京都立川市市場町17-5
杉田ビル5F 515号
電話 〇四二五(28) 0882
FAX 〇四二五(28) 1297
編集発行人 立井啓介
印刷所 南大塚社

表紙は語る

まい あーと 和紙絵 「古都の秋」
by 井上延子

立川美術会 在籍する井上さんの今回の作品は秋の京都を題材にしたもので、和紙絵の技法は、手ではじめることにはこだわらないこと。ハサミで切った細かい和紙をちりばめたり、その自由さは作り手の想像力だ。井上さんの和紙絵の先生は、自ら和紙を染める。同じように染めても、2度と同じ色はでない。和紙との出会いもまた、和紙絵を作るうえで大きな楽しみの一つ。和紙の質感にひかれるという井上さんが、かつて同会的光華に「あなたの和紙絵は、白い絵の具で描いているのと同じだ」と言われたことが、今でも胸に残っているという。自分の想う自分だけの色で見る人に語りかけていくとき、本当の井上さんの世界が広がっていくのかもしれない。

東風

青木彰信君(20才、米町)がパラリンピック、水泳競技で銅メダルに輝いた。それも2つ。五〇メートル自由型、44秒83。百メートル自由型、1分39秒94。青木君は本来、二百メートルを得意として世界記録保持者でもあったのだが、今回のパラリンピックでは、タインの時に水を飲んでしまい、惜しくも途中棄権となってしまった。それにも、銅2つは快挙である。だが、青木君のアトランタ情報、なかなか伝わってこなかった。新聞にも新聞にも登場しないのだ。新聞では、スポーツ面には載らずに、話題性のあるパラリンピック情報が、「社会面」にとりあげられているにすぎない。ならば、えくてびあん「誌」が、せめて立川人だけに青木君の快挙をお知らせしたいものと、体育協会や水泳協会のご賛同を得て「頭の会」を開いた。そして「頭(しんりゅう)」には、人を讃えるという意味がある。えくてびあんで過去に、動物写真家の久田雅夫さん、児童文学の森恵明さんと詩人の清水たみ子さんを囲んで「頭の会」を開いてきたので、今回は3回目。青木彰信君を囲む会を開いてよかったと思うのは、障害をもつ人と健常者とが共に生き生きと語りあえたことだった。この喜びをスポーツに終わらせない。この喜びを振りに向けて、抱きかかろう。えくてびあん

おいしい会話

あたたかな サービスで お迎えします
みなさまの 富士銀行

アムス株式会社

ウォッチング

屋根裏的 光景を楽しむ〜碇子

立川美術会 在籍する井上さんの今回の作品は秋の京都を題材にしたもので、和紙絵の技法は、手ではじめることにはこだわらないこと。ハサミで切った細かい和紙をちりばめたり、その自由さは作り手の想像力だ。井上さんの和紙絵の先生は、自ら和紙を染める。同じように染めても、2度と同じ色はでない。和紙との出会いもまた、和紙絵を作るうえで大きな楽しみの一つ。和紙の質感にひかれるという井上さんが、かつて同会的光華に「あなたの和紙絵は、白い絵の具で描いているのと同じだ」と言われたことが、今でも胸に残っているという。自分の想う自分だけの色で見る人に語りかけていくとき、本当の井上さんの世界が広がっていくのかもしれない。

民家の外壁に碇子が見える。ここは富士見町のとある家屋。電柱から引き込んだ電線は碇子に支えられて家の中に消えていく。外壁にむき出しの碇子とは今時めずらしい。この碇子を見た途端に、配電盤のヒューズを針金で代用していた頃を思い出した。漏電が原因の火災記事が良く新聞を飾っていた頃である。今は碇子自体を知らない世代がそろそろ親となるころだろうか。危なくとも、ほのぼのとした懐かしさを与える一昔前の「屋根裏的光景」である。

忘年会・新年会のご予約はお早めに。
西洋劇場 グランディール
JR立川駅南口諏訪通り ☎22-0729

【オオカマキリ】

カマキリ目カマキリ科



産卵中の雌。低木の枝や、草の茎に、約三百個の卵塊を分泌物の泡で包んで産付する。泡は乾燥すると、スポンジ状になり、秀れた防寒効力がある。きびしい冬を越して、来年の五月、幼虫が生まれる。肉食性で、他の昆虫を捕食するが、動く物しか喰べないので、しばしば仲間どうし共喰いをする。交尾するのも命がけて、その最中に頭から喰べられる雄を時々目撃する。成虫になるまで、天敵の寄生虫や、鳥に襲われ、生存率は1%位だと云われている。